

# 予算決算委員会（全体会）記録

[後期全体会・当初予算分]

1 日 時 令和2年3月23日（月曜日）

開 会 午後 1時09分

閉 会 午後 1時20分

2 場 所 議 場

3 出席委員 35人

委員長 柞 山 数 男

委 員 久 保 大 憲

// 松 井 邦 人

// 金 谷 幸 則

// 泉 英 之

// 岡 部 享

// 竹 田 勝

// 上 野 蛭

// 木 下 章 広

// 押 田 大 祐

// 江 西 照 康

// 高 田 真 里

// 高 道 秋 彦

// 島 隆 之

// 東 篤

委 員	金 井 毅 俊
//	小 西 直 樹
//	大 島 満
//	成 田 光 雄
//	松 尾 茂
//	尾 上 一 彦
//	橋 本 雅 雄
//	松 井 桂 将
//	横 野 昭
//	村 石 篤
//	佐 藤 則 寿
//	金 厚 有 豊
//	鋪 田 博 紀
//	高 田 重 信
//	赤 星 ゆかり
//	村 上 和 久
//	村 家 博
//	有 澤 守
//	高 見 隆 夫
//	五 本 幸 正

4 欠席委員 1人

副委員長 堀 江 かず代

5 地方自治法第105条の規定により出席した者

議 長 舎 川 智 也

## 6 職務のために出席した者

### 【議会事務局】

参事（議事調査課長）

福原 武

議事調査課長代理

石黒 隆司

議事調査課副主幹（議事係長）

中山 崇

議事調査課主査

酒井 優

議事調査課主査

本田 宏之

議事調査課主任

平瀬 航

## 7 会議の概要

委員長           ただいまから、予算決算委員会を開きます。  
堀江委員から、都合により欠席するとの連絡  
がありましたので、御報告申し上げます。  
本日の審査日程は、お手元に配付のとおりで  
あります。  
これより、各分科会長の報告を求めます。  
まず、高道総務文教分科会長。

総務文教分科会長   総務文教分科会での審査につきまして、御報  
告いたします。  
当分科会では、送付されました予算案件3件  
の審査を行いました。  
以下、審査の概要を申し上げます。  
議案第1号中、教育委員会所管分の学校給食  
運営事務費について、次のような反対意見の  
表明がありました。  
学校給食単独校調理場の調理等業務について、  
民間委託をしなければならない理由、民間委  
託をすることでさらに良くなるという理由は  
見つからない。民間委託をすると、栄養職員  
は調理場で直接指導をすることができなくな  
る。このことから食育に専念できるとも言わ  
れるが、それについては、県と協力して全校  
に栄養教諭が配置されるよう追求するべきで

あり、学校給食の調理等業務の民間委託をさらに拡大することには反対であるという観点からの反対意見がありました。

以上、総務文教分科会の分科会長報告といたします。

委員長 ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。

次に、高田厚生分科会長。

厚生分科会長 厚生分科会での審査につきまして、御報告いたします。

当分科会では、送付されました予算案件7件の審査を行いました。

以下、審査の概要を申し上げます。

初めに、議案第1号中、こども家庭部所管分の不妊治療費等助成事業について申し上げます。

委員から、本事業は不妊に悩んでいる夫婦がともに検査を受けることを目的としているが、男性が病院へ行きやすい環境づくりについて、

どのように考えているのかとの質問がありました。

これに対し、当局から、本事業を周知するに当たり、「広報とやま」への掲載や、婚姻手続時に知っていただけるよう、市民課の窓口パンフレットを配置する予定としております。あわせて、男性の方が相談しやすい仕組みなどを今後検討してまいりたいと考えておりますとの答弁がありました。

次に、議案第6号 富山市まちなか診療所事業特別会計予算について申し上げます。

委員から、来年度に診療収入が増加する見込みであるとのことだが、利用件数の伸びをどう考えているのかとの質問がありました。

これに対し、当局から、今年度については、末期がん患者や慢性期の重度の患者など、保険点数の高い患者の割合が減少しましたが、病院の退院支援が今後も加速していくことで、患者数は一定程度伸びていくものと見込んでおりますとの答弁がありました。

なお、全ての案件において、意見の表明はありませんでした。

以上、厚生分科会の分科会長報告といたします。

委員長

ただいまの分科会長報告に対する質疑に入り

ます。  
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。  
次に、江西経済環境分科会長。

経済環境分科会長 経済環境分科会での審査につきまして、御報告いたします。  
当分科会では、予算案件8件の審査を行いました。  
以下、審査の概要を申し上げます。  
まず、議案第1号中、環境部所管分のカラス対策事業について申し上げます。  
委員から、カラスの鳴き声発生装置による誘導捕獲実験について、期待度はどれぐらいのものなのかとの質問がありました。  
これに対し、当局から、このたび実施いたしますカラスの鳴き声を発生させておりに誘導し捕獲する実験は、全国的にみてもカラス対策における先進的な取組であると考えております。他都市における鳴き声を発生させ誘導する実験では、一定の効果が確認されているとのことであり、本市で実施する捕獲を目的とした誘導実験についても捕獲数の増加が見

込めるものと期待しておりますとの答弁がありました。

なお、全ての案件において、意見の表明はありませんでした。

最後に、付託案件以外の事柄について御報告申し上げます。

委員から、道路のり面等の現況調査について、建設部では、安心・安全に市道を利用できるよう調査を行う予定であると聞いているが、農林水産部では、市が管理する農道について、同様の調査は行わないのかとの質問がありました。

これに対し当局から、市管理農道については、市道と比較すると、道路延長が短く土砂災害警戒区域に指定されている区域が52カ所とかなり少ないことから、これまでも職員が定期的なパトロールを行っておりましたが、今後は、さらに農道のり面等の目視による点検を強化してまいりたいと考えておりますとの答弁がありました。

これを受けて委員から、危険な箇所については、市が管理する農道について、現場目視も含め、しっかり管理していただきたい。また、行く行く整備する場合は、その場所の災害の経過や規模を調査し、しっかり予算づけするなどの対応をしていただきたいとの要望があ

りました。

以上、経済環境分科会の分科会長報告といたします。

委員長 ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。  
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。  
次に、押田建設分科会長。

建設分科会長 建設分科会での審査につきまして、御報告いたします。  
当分科会では、送付されました予算案件6件の審査を行いました。  
以下、審査の概要を申し上げます。  
初めに、議案第1号中、活力都市創造部所管分のまちなか再生推進事業費、まちなか居住推進事業費、公共交通沿線居住推進事業費について、次のような意見の表明がありました。  
まず、反対意見について申し上げます。  
市街地再開発事業については、中央通りD北地区に1億6,000万円もの補助金が提案されており、これまでも莫大な補助金が支出

されてきているが、事業の遅れが見られる。高層マンションを中心にした中心市街地大型再開発事業は、見直しを事業組合に提言すべきではないか。

まちなか居住推進事業費及び公共交通沿線居住推進事業費については、マンションの建設と販売の促進をセットにしたような誘導策は見直すべきであり、これらの事業がまちなかや公共交通沿線以外の郊外や中山間地の過疎化と空き家を増強させるものになっているのではないかという観点からの反対意見がありました。

次に、賛成意見について申し上げます。

市街地再開発事業は、都市再開発法に基づき、防災上危険な老朽建物などが密集している地区において、再整備を行うことにより、市街地の土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図ることを目的とするものである。中央通りD北地区市街地再開発事業は、商業施設や居住施設等を整備することにより、安全で快適な都市環境を形成し、中心市街地の活性化とまちなか居住が推進されることから、推進するべきである。

まちなか居住推進事業は、まちなかにおける魅力や活力にあふれるコンパクトなまちづくりを目的に、また、公共交通沿線居住推進事

業は、公共交通沿線居住推進地区における住宅供給及び人口増を図ることを目的に支援しているものであり、引き続き推進するべきであるという観点からの賛成意見がありました。次に、議案第1号中、建設部所管分の花と緑の推進事業費について、次のような意見の表明がありました。

まず、反対意見について申し上げます。

花でつなぐフラワーリング事業について、来年度予算は、1カ所当たり3万円以上値上がりし、総額6,270万円もかけられている。この高い事業費は、多くの市民の理解が得られないのではないか。街を花で潤すなら、手入れのしやすい地上の花壇など市民や事業者の皆さんが快く協力・参画できる方法を研究すべきではないかという観点からの反対意見がありました。

次に、賛成意見について申し上げます。

フラワーリング事業は、まちなかを季節ごとの花で彩ることで、市民や観光客の皆様にも潤いのある景観を楽しんでいただくとともに、まちなかのにぎわい創出や良好な都市景観の向上を目的に、平成19年度から実施され、富山のまちなかの魅力として定着しており、今後とも継続すべきであるという観点からの賛成意見がありました。

以上、建設分科会の分科会長報告といたします。

委員長 ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。  
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。  
以上で、質疑は終結いたしました。  
これより、議案第1号を起立により、採決いたします。  
本案件は、原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

委員長 起立多数であります。  
よって、本案件は、原案可決されました。  
次に、議案第2号から議案第21号まで、以上20件を一括して、採決いたします。  
各案件は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

御異議なしと認めます。

よって、各案件は、原案可決されました。

これで、3月定例会の当委員会に付託されました全議案の審査は終了いたしました。

委員各位に御相談申し上げます。

委員長報告については、委員長に御一任願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それでは、そのように取り計らいます。

これをもって、令和2年3月定例会の予算決算委員会を閉会いたします。

令和2年3月定例会  
予算決算委員会（全体会）記録署名

委員長 柞山 数男

署名委員 大島 満

署名委員 成田 光雄